

～職員の幸せは住民の幸せに結びつく～  
 地方自治体に求められているのは、住民の幸福度を上げること。住民ニーズをとらえて、適正かつスピーディにサービスを提供しなければならない。

<組織活性化の鍵を握っているのは誰?>

組織活性化は「組織に属する個々人が生き生きとした状態で、その組織が掲げる目標に向かって、やる気を持って行動できること」。ならば、「職員の幸せ」が達成できてこそ、「住民の幸せ」に到達できるのではないかと。

「職員の幸せ」に結びつく取組が評価されている団体があるなら、その団体が目的達成のために何をやったかを学ぶ必要がある。以下、3つの視点から視察先を絞り込んだ。

1. ワークライフバランス

2. 承認(褒める)

3. 共有

生き生き働くためには



3要素が作用し合って



視点	視察先	視察内容	効果等
①	拓新産業株式会社	残業ゼロ、有給休暇消化率100%	職員満足度向上と就職希望者の増大
①	日向市役所	「お助くん制度」で、組織の業務の繋りを解消	時間外勤務の減と職員間の横のつながり強化
②	熊本県庁	県知事自らが率先して表彰制度(樺島賞)を実施	職員のやる気度アップとチャレンジ精神の醸成
②	株式会社JR東日本テクノハートTESSEI	ハーバード大学も絶賛!褒めあい誇りを持って働く職場「7分間の奇跡」	仕事に対するモチベーションと積極性の向上
③	田川市役所	業務改善のための「見える化」の取組	業務・労務マネジメントの強化(自己管理、上司の管理)

<視察で分かったこと>

- 1 カギを握るキー・パーソンが存在
- 2 当たり前のこと、小さなことを継続してやった
- 3 やろうとすることを、やらせる風土(体制)、認める(褒める)る風土
- 4 自分たちがやり始めなければならない、ということ

<結論>

「組織活性化の鍵を握っているのは、  
 わたしたち(あなたたち)自身」です。

さあ、自分自身でできることから始めましょう。



組織活性化

その「カギ」を見つけた!

